

**【調査】ビジネス資料作成ツールに異変！
定番パワポ・Excel・ワードを脅かす ChatGPT、若層の“新常識”に？
ーバブル世代と Z 世代では 2.25 倍の利用率差ー**

PowerPoint（以下パワポ）作業のオールインワンソリューション「think-cell スイート」を提供する think-cell Japan 株式会社（シンクセルジャパン、本社：東京都千代田区、代表取締役：松塚展国、以下 think-cell Japan）は、日本全国の 22～59 歳の大卒社会人男女 800 名を対象とした職場でのデジタルツールの利用実態調査を行い、Z 世代やゆとり世代といった世代別での資料作成におけるデジタルツールの利用状況の違いを浮き彫りにしました。

各世代におけるビジネス資料作成ツール利用状況調査を実施

think-cell 

世代名	年齢
Z世代	22～28歳
ゆとり世代	29～38歳
氷河期世代	45～50歳
バブル世代	51～54歳
団塊世代	55～59歳



【調査概要】

- ・調査タイトル：大卒社会人の、職場でのデジタルツール利用実態調査
- ・調査期間：2025 年 4 月 4 日～4 月 5 日
- ・調査対象者：22～59 歳の大卒社会人 800 名（年代 10 歳刻みで男女均等に割付）
- ・調査方法：インターネット
- ・エリア：全国

調査サマリー

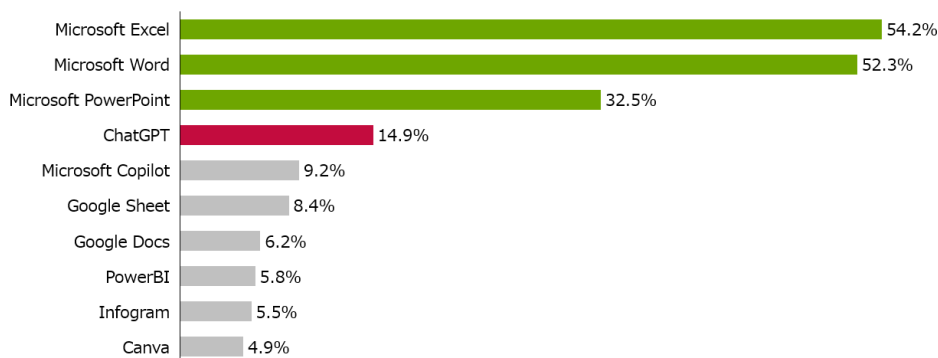
- 世代を超えて利用される 3 大ツール、エクセル、ワード、パワポ。サービス開始わずか 2 年半で、その後ろにつける ChatGPT。
- エクセル、ワード、パワポは若年世代ほどクラウド上の代替ツール化が進む。
- ChatGPT の利用率は Z 世代とバブル世代では 2.25 倍の差。

■世代を超え利用される3大ツール、エクセル、ワード、パワポ。サービス開始わずか2年半でその後ろにつける Chat GPT。

【全世代】ビジネス資料作成のために、使用しているツールトップ10

think-cell

Q. 以下にあげる、主にビジネス上の資料作成のために使用されるツールについて、現在のあなたに最も当てはまるものをそれぞれお選びください。【ツール名】
A. 知らない/知っているが使用したことはない/以前使用していた/使用したことがある/現在使用している から「現在使用している」を回答



回答対象ツール：Microsoft Word/マイクロソフトワード、Google Docs/グーグルドックス、Apple Pages/アップルページス、Microsoft Excel/マイクロソフトエクセル、Google Sheets/グーグルシート、Apple Numbers/アップルナンバーズ、Tableau/タブロー、Microsoft Power BI/マイクロソフトパワーBI、Infogram/インフォグラム、Datawrapper/データラッパー、Microsoft PowerPoint/マイクロソフトパワーポイント、Google Slides/グーグルスライズ、Apple Keynote/アップルキーノート、Prezi/プレジ、Slidesgo/スライズゴー、イルシル、think-cell/シンクセル、Gamma/ガンマ、GPT for Slides/GPTフォースライズ、Beautiful.AI/ビューティフルAI、SlidesAI/スライズAI、Tome/トーム、Canva/キャンバ、ChatGPT/チャットGPT、Perplexity/パープレキシティ、Microsoft 365 Copilot/マイクロソフト365 コピilot

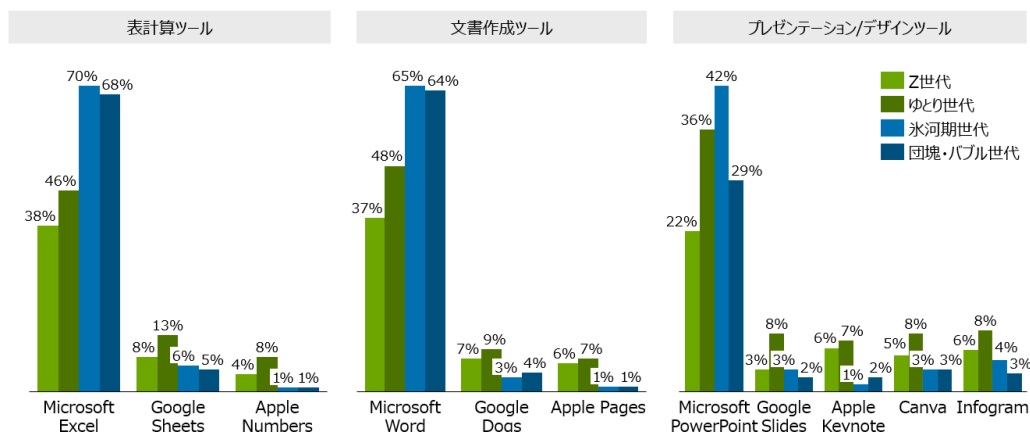
職場で使用されているデジタルツールは、Microsoft Excel/マイクロソフト エクセルが54%、Microsoft Word/マイクロソフト ワードが52%、Microsoft PowerPoint/マイクロソフト パワーポイントが32%でトップ3。いわゆるエクセル、ワード、パワポの3大ツールが依然多くのビジネスパーソンに利用されていることが改めて浮き彫りとなった。そしてこれら3大ツールに次いで利用されていたのは ChatGPT/チャット GPT で15%の利用率だった。誕生からわずか2年半で既にビジネス現場で4番目に利用されるという、業務のAI化の進行を感じさせる結果となった。

■エクセル、ワード、パワポは若年世代ほどクラウド上の代替ツール化が進む。

【世代別】ビジネス資料作成のために、使用されているツール

think-cell

Q. 以下にあげる、主にビジネス上の資料作成のために使用されるツールについて、現在のあなたに最も当てはまるものをそれぞれお選びください。【ツール名】
A. 知らない/知っているが使用したことはない/以前使用していた/使用したことがある/現在使用している から「現在使用している」を回答



本件に関する報道機関からの問い合わせ：

think-cell Japan 株式会社 広報 pr-jp@think-cell.com

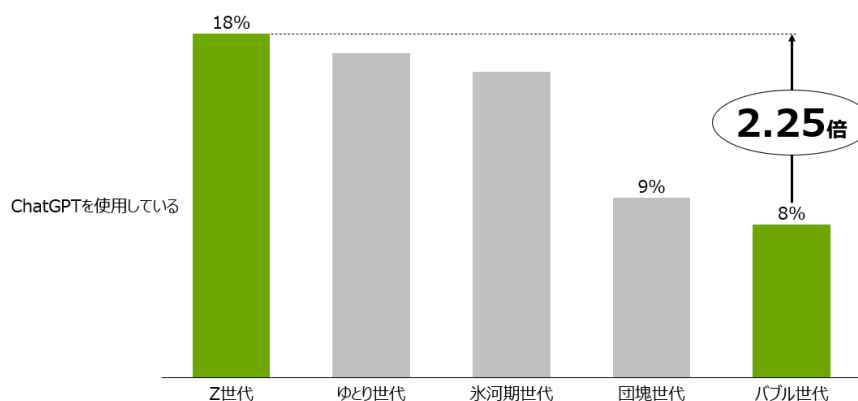
エクセル、ワード、パワポはそれぞれ、氷河期世代（45-50）、団塊ジュニア&バブル世代（51-59）の利用率が高く、Z世代、ゆとり世代は比較して低い傾向にあることが分かった。これは若年世代が上の世代と比較し Google Sheets/グーグルシート、Google Docs/グーグルドックス、Google Slides/グーグルスライズといったオンライン上の、あるいは Apple Pages/アップルページズ、Apple Numbers/アップルナンバーズ、Apple Keynote/アップルキーノートといった他社の代替ツールの利用率が高いことに起因していると考えられる。またパワポについては、他に Canva/キャンバなどの代替ツールが利用されていた。

■ ChatGPT の利用率は Z 世代とバブル世代では 2.25 倍の差。

ビジネス資料作成のために、ChatGPTを使用している Z世代は、バブル世代の2.25倍

think-cell

Q. 以下にあげる、主にビジネス上の資料作成のために使用されるツールについて、現在のあなたに最も当てはまるものをそれぞれお選びください。【ChatGPT/チャットGPT】
A. 知らない/知っているが使用したことはない/以前使用していた/使用したことがある/現在使用している から「現在使用している」を回答



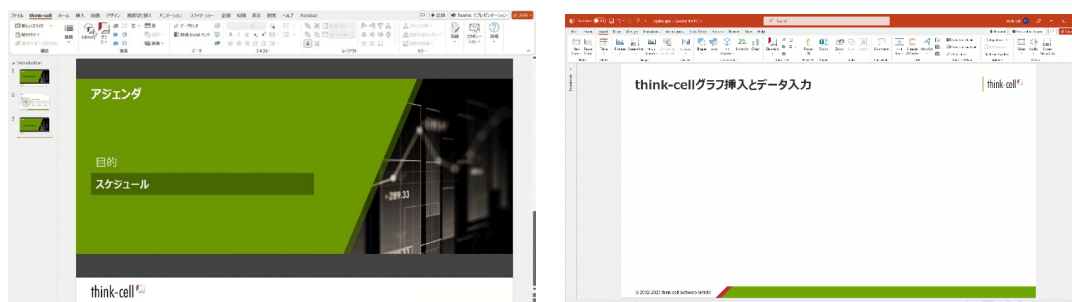
ChatGPT の利用率を世代別に見ると、Z 世代から氷河期世代まではいずれも 16~18% の範囲の中に納まっており、約 2 割のビジネスパーソンが世代問わず利用していることが分かった。一方、団塊ジュニアやバブル世代になるとこのスコアが 10% を割り込み一気に低下。特に Z 世代とバブル世代との差は 2.25 倍となっており、デジタルディバイドならぬ、AI デイバイドが世代間で起こる可能性を示唆していた。

本件に関する報道機関からの問い合わせ：

think-cell Japan 株式会社 広報 pr-jp@think-cell.com

■資料作成を効率化する think-cell スイートとは？

パワポと Excel を使ってビジネス資料を作成する際の**手間を最大 70%削減し、プロフェッショナルで高品質な資料を効率よく作るためのオールインワンソリューション**。パワポの拡張ツールとして機能し、think-cell をダウンロードすると、250 種類以上のビジネススライドテンプレートや商用利用可能なアイコンや素材等をパワポ上で検索し、そのままスライドに挿入することが可能。また、グラフ自動作成機能も強みで、40 種類以上のチャートを瞬時に作成することができる。



▼一か月無料トライアル：<https://server.think-cell.com/portal/ja/trial.srf>

<会社概要>

think-cell は、2002 年ドイツにて創設。パワポを使って、効率よくデータ・ビジュアライゼーションを支援するソフトウェアを世界規模で提供。コンサルティング業界を中心に有償ユーザー数は 120 万人を超え、ビジネスプレゼンテーション作成ツールの世界スタンダードになっている。think-cell Japan は、think-cell の日本法人として、ソフトウェアの販売、コンサルティング、サポートを行っている。

会社名：think-cell Japan 株式会社

所在地：東京都千代田区丸の内 1 丁目 9-2 グラントウキョウサウスタワー9 階

代表取締役社長：松塚展国

設立時期：2022 年 6 月

資本金：3000 万円

事業概要：PowerPoint 図表効率化ソフトウェアの販売、コンサルティング、サポート

URL：<https://www.think-cell.com/ja>

本件に関する報道機関からの問い合わせ：

think-cell Japan 株式会社 広報 pr-jp@think-cell.com